



以前は「カワムツB型」と呼ばれていた。県内での生息数は多い。若狭町産 全長:約20cm

コイ科 カワムツ属

【全長】25cm

カワムツ

学名: *Candidia temminckii*

分布域

能登半島・東海地方以西の本州・四国・九州に分布する。

生息域

河川の中流～上流域・岸近くの淀んだ場所を好む。



金属の様な光沢がある。あわら市産

体形は流線型で、鱗は金属光沢を放つ。体側中央部に顕著な暗藍色の縦条がある。眼の上部と背鰭の前縁が赤色で、オスは顕著に現れる。産卵期は春～夏でオス・メス集団で砂泥底～礫底部に産卵する。この時期の成熟したオスは、朱色の婚姻色が頭部下面～腹部に視られる。頭部に追星が顕著に現れ、臀鰭が大きく伸長する。生後2～3年で成熟する。食性は雑食性で付着藻類や底生動物・落下昆虫などを幅広く食べる。生息地での生息密度は非常に高く、集団で生息する。

水槽での飼育は容易。餌は配合飼料に慣れる。産卵期のオスはやや気性が荒くなる。体の小さい種との混泳は避けたい。

在来種

純淡水魚

※ 福井県内では生息地・生息数とも比較的多い。普通種といってもいい。小数飼育で水槽内でも産卵・繁殖する。